

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成24年5月10日 (2012.5.10)

【公開番号】特開2012-55700(P2012-55700A)
 【公開日】平成24年3月22日 (2012.3.22)
 【年通号数】公開・登録公報2012-012
 【出願番号】特願2011-223252(P2011-223252)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 13/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/00 3 0 1 J

A 6 1 F 13/00 T

A 6 1 F 13/00 3 0 1 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成23年11月7日 (2011.11.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

創傷表面上で包帯の向きによって異なる創傷処置特徴を与える創傷用包帯。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 7】

実施例2

積層工程の前に、液状シリコンゴムに顔料を加えて、実施例1の方法を繰り返した。シリコンをベースとする青色インク〔カリフォルニア州カービンテリアのヌシル・テクノロジー(Nusil Technology)社から市販の製品コードR1008-7〕を、4重量%の濃度にてMDX 4-4210中に混合した。IPN材料は透明であり、フォームは不透明であるので、青色顔料は、包帯材の一方の側にソフトな青色を付与した。これは、現場において、包帯材の一方の側を他方の側と区別するための視覚的標識として役立つ。

本発明の実施態様は、例えば、下記のような態様がある。

- 1 創傷表面上で包帯の向きによって異なる創傷処置特徴を与える創傷用包帯。
- 2 一方の向きが非接着表性面を与え、他方の向きが接着性表面を与える、上記 1 に記載の包帯。
- 3 創傷用包帯が多層複合構造から構成される、上記 1 に記載の包帯。
- 4 創傷用包帯が多層複合構造から構成される、上記 2 に記載の包帯。
- 5 多層複合構造が、少なくとも一つの膜層および少なくとも一つのフォーム層から構成される、上記 3 に記載の包帯。
- 6 多層複合構造が、少なくとも一つの膜層および少なくとも一つのフォーム層から構成される、上記 4 に記載の包帯。
- 7 膜層がシリコン含有化合物から構成される、上記 5 に記載の包帯。
- 8 膜層がシリコン含有化合物から構成される、上記 6 に記載の包帯。

9 フォーム層がポリウレタン材料から構成される、上記5に記載の包帯。

10 フォーム層がポリウレタン材料から構成される、上記6に記載の包帯。

11 膜層がシリコン含有化合物から構成され、フォーム層がポリウレタン材料から構成される、上記5に記載の包帯。

12 膜層がシリコン含有化合物から構成され、フォーム層がポリウレタン材料から構成される、上記6に記載の包帯。

13 創傷表面上で包帯の向きによって異なる創傷処置特徴を与える創傷用包帯の製造法であり、(1)ポリマーコンパウンドの薄いフィルムを形成すること、(2)形成した薄いフィルムを被覆用アセンブリー中に通過させ、そして接着剤物質の層を堆積させること、(3)フォーム材料を前記接着剤に密接に接触させること、そして、(4)場合により、シートから個々の包帯に切断することおよび/またはフィルム中に複数の孔を設けることからなる前記創傷用包帯の製造法。

14 創傷表面の包帯の向きによって異なる創傷処置特徴を有する包帯を使用して種々の創傷のタイプを処置する方法。

15 実質的に本明細書に記載した通りの新規な創傷用包帯。

16 実質的に本明細書に記載した通りの2重目的創傷用包帯。

17 実質的に本明細書に記載した通りの種々の創傷のタイプを処置する新規な方法。

18 創傷用包帯として使用するための複合物品であって、当該物品は、第1表面；および第2表面を含み、ここで、第1表面と第2表面とは創傷治癒に対して各々異なる特性を有する、前記複合物品。

19 創傷用包帯として使用するための複合物品であって、当該物品は、少なくとも一つの第1層の材料；および当該第1層の材料と結合した少なくとも一つの第2層の材料を含み、ここで、前記少なくとも一つの第1層の材料は前記物品の第1表面を形成し、前記少なくとも一つの第2層の材料は前記物品の第2表面を形成し、そして前記第1表面と前記第2表面とは創傷治癒に対して各々異なる特性を有する、前記複合物品。

20 前記少なくとも一つの第1層の材料を前記少なくとも一つの第2層の材料に結合させるための結合剤をさらに含む、上記19に記載の複合物品。

21 前記結合剤がシリコン化合物を含む、上記20に記載の複合物品。

22 前記少なくとも一つの第1層が少なくとも一つの膜層を含む、上記19に記載の複合物品。

23 前記少なくとも一つの第1層がシリコン含有化合物を含む、上記19に記載の複合物品。

24 前記少なくとも一つの第2層がフォーム層を含む、上記19に記載の複合物品。

25 前記フォーム層がポリウレタンを含む、上記24に記載の複合物品。

26 前記シリコン含有化合物が、ポリテトラフルオロエチレンおよびシリコンの相互侵入高分子網目を含む、上記23に記載の複合物品。

27 前記シリコン含有化合物が、ポリテトラフルオロエチレンおよびシリコンの相互侵入高分子網目を含む、上記24に記載の複合物品。

28 前記フォーム層がポリウレタンを含む、上記23に記載の複合物品。

29 前記フォーム層がポリウレタンを含む、上記24に記載の複合物品。

30 前記少なくとも第1層および前記少なくとも第2層のうちの少なくとも一つを他から識別するために前記少なくとも一つの第1層および前記少なくとも一つの第2層のうちの少なくとも一つと関連付けた顔料をさらに含む、上記19に記載の複合物品。

31 前記少なくとも一つの第1層が実質的に透明な材料を含み、そして前記少なくとも一つの第2層が実質的に不透明な材料を含み、前記複合物品が前記少なくとも一つの第1層の材料に対して識別できる色を付与するための顔料をさらに含む、上記19に記載の複合物品。

32 さらに顔料を含み；前記結合剤がシリコン含有化合物を含み、そして前記顔料が前記シリコン含有化合物に添加される、上記20に記載の複合物品。

33 前記少なくとも一つの第1層が、その中に複数の孔を有するポリマーフィルムを

含む、上記 19 に記載の複合物品。

34 創傷の処置方法であって、

第 1 の位置に配置されるとき少なくとも第 1 の治療特性を有しかつ第 2 の位置に配置されるとき少なくとも第 2 の治療特性を有する創傷用包帯を用意し、

治療すべき創傷に対して第 1 の治療特性および第 2 の治療特性のうちの一方または他方を選択し、

創傷用包帯を配置して選択した治療特性を達成するように創傷に接触させることにより、創傷用包帯を創傷に適用する、前記処置方法。

35 第 1 の位置に配置されるとき少なくとも第 1 の治療特性を有しかつ第 2 の位置に配置されるとき少なくとも第 2 の治療特性を有する創傷用包帯を用意する段階が、少なくとも第 1 表面および少なくとも第 2 表面を有する創傷用包帯を用意することを含み；

治療すべき創傷に対して第 1 の治療特性および第 2 の治療特性のうちの一方または他方を選択する段階が、前記創傷用包帯の第 1 表面および前記創傷用包帯の第 2 表面の一方または他方を選択することを含み；そして

創傷用包帯を適用する段階が、前記創傷と前記選択した表面とを接触させることを含む、上記 34 に記載の方法。

36 前記創傷用包帯を前記創傷と接触した状態に維持させ；そして

前記創傷用包帯を前記創傷から取り外すことをさらに含む、上記 36 に記載の方法。

37 創傷用包帯を用意する段階が、少なくとも一つの第 1 層および少なくとも一つの第 2 層を有する創傷用包帯を用意することを含み、ここで各層は創傷治療に対して異なる特性を示し；選択の段階が治療すべき創傷に対して第 1 の治療特性および第 2 の治療特性の一方または他方を選択することを含み；そして、配置する段階が、前記少なくとも一つの第 1 層および前記少なくとも一つの第 2 層の一方または他方を配置し、治療すべき創傷と接触させて選択した治療特性を適用することを含む、上記 34 に記載の方法。